

せたがや 区議会だより



No.131994

No.179
4/27

第1回定例会の主な会議日程
3月1日 本会議(代表質問)
2日 本会議(代表質問、一般質問)
5日 本会議(一般質問、議案の付託)
9日 本会議(議案の議決)
12日～26日 予算特別委員会
29日 本会議(議案の議決)

発行 平成13年4月27日 〒154-8504 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会 ☎(5432)1111代表 http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

平成13年度予算が成立

第1回定例会開催

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から56の案件が、議員から2件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、選挙管理委員とその補充員の選挙も行いました。

- 13年度各会計予算 5件
 - 一般会計 賛成多数
 - 国民健康保険事業会計 賛成多数
 - 介護保険事業会計 賛成多数
 - 老人保健医療会計 賛成多数
 - 中学校給食費会計 賛成多数
- 12年度各会計補正予算 4件
 - 一般会計(第一次) 賛成多数
 - 国民健康保険事業会計(第二次) 賛成多数
 - 介護保険事業会計(第一次) 賛成多数
 - 老人保健医療会計(第二次) 賛成多数
- 13年度各会計予算額は次のとおり
 - 一般会計 三三〇億三、八四万円
 - 国民健康保険事業会計 五、二億九、一五五、五〇円
 - 介護保険事業会計 二〇〇億八、二〇五、三三〇円
 - 老人保健医療会計 六、三七億二、七四六、五五〇円
 - 中学校給食費会計 六、三七億二、七四六、五五〇円
- 条例の新設 2件
 - 政務調査費交付条例



きたみふれあい広場

- 政務調査費の交付対象や額を定めた。条例を左横書きに改める条例(全員賛成)を定める。
- 条例の改正 40件
 - 組織条例
 - 職員退職手当条例 賛成多数
 - 職員処遇条例(全員賛成) 賛成多数
 - 職員旅費条例(全員賛成) 賛成多数
 - 危険管理や災害対策などの体制を整備した。
 - 手数料条例
 - 手数料 賛成多数
 - 工場設置認可申請手数料を改定したことなど。
 - 情報公開条例 賛成多数
 - 区の説明責任を明示するとともに、電磁的記録を開示対象とすることなど。
 - 職員の再任用条例 賛成多数
 - 職員勤務時間・休日・休暇条例 賛成多数
 - 職員育児休業条例 賛成多数
 - 幼稚園教育職員勤務時間・休日・休暇条例 賛成多数
 - 幼稚園教育職員給与と特別措置条例 賛成多数
 - 非常勤職員の報酬・費用弁償条例 賛成多数
 - 職員給与条例 賛成多数
 - 幼稚園教育職員給与条例 賛成多数
 - 職員定数条例(全員賛成)
- 以上8件は、新たな再任用制度の導入に伴い、規定を整備した。
- 職員定数条例(全員賛成)
- 大学院修学休業中の職員を定数外とした。
- 職員退職手当条例 賛成多数
- 職員処遇条例(全員賛成) 賛成多数
- 職員旅費条例(全員賛成) 賛成多数
- さいたま市の設置に伴い規定を整備した。
- 区議会議員選挙・区長選挙の選挙運動公費負担条例(全員賛成) 賛成多数
- 法改正に伴うもの。
- 区税条例(全員賛成) 賛成多数
- 法改正に伴うもの。
- 区民会館条例(全員賛成) 賛成多数
- 玉川区民会館の管理を(株)世田谷サードビス公社に委託した。
- 男女共同参画センター条例(全員賛成) センターの管理をコミュニティ振興交流財団に委託したことなど。
- 消費生活条例 賛成多数
- 消費者被害救済委員会を廃止することなど。
- 消費生活センター条例 賛成多数
- 商品テスト室を廃止した。
- 水防・応急措置業務従事者損害補償条例(全員賛成) 賛成多数
- 国の省庁再編に伴い規定を整備した。
- 区民農園条例(全員賛成) 賛成多数
- 農園の維持管理を(株)世田谷サードビス公社に委託した。
- 保健福祉センター条例 賛成多数
- 保健所使用条例 賛成多数
- 以上2件は、診断書などの手数料を
- 厚生会館条例(全員賛成) 賛成多数
- 母子生活支援施設条例 賛成多数
- 法改正に伴うもの。
- 国保条例 賛成多数
- 保険料率を改定した。
- 高額療養費等資金貸付基金条例(全員賛成) 賛成多数
- 資金の貸付範囲を拡大した。
- 女性福祉資金貸付条例(全員賛成) 賛成多数
- 貸付範囲を変更したことなど。
- 在宅介護支援センター条例(全員賛成) 賛成多数
- 池尻在宅介護支援センター(池尻2丁目4-26)を新設したことなど。
- 保健所運営協議会条例(全員賛成) 委員数を22名以内に改めることなど。
- 興行場条例 賛成多数
- 許可申請手数料を改定したことなど。
- プール経営許可条例(全員賛成) 賛成多数
- 許可申請手数料を改定した。
- 公園条例(全員賛成) 賛成多数
- 公園の使用料・占用料を改定するとともに、次の公園を新設し、併せて桜3-9遊び場を「桜3丁目公園」として区立公園に位置付けた。

名称	所在地
目黒川緑道池	尻4丁目24先
等々力8丁目	等々力8丁目18-3
深沢3丁目	深沢3丁目27-2
喜多見まごころ緑道	喜多見1丁目9-20

○身近な広場条例(全員賛成)
広場の使用料・占用料を改定するとともに、次の広場を新設した。

名称	所在地
上馬やまぼうし	上馬1丁目27-7
代沢草の丘	代沢2丁目27-8

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

代表質問

3月1日及び2日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

自由民主党

大場 康宣議員

質問 経済のグローバル化やIT革命など、21世紀の新たな潮流に対応する区政運営のビジョンを示せ。

区長 区民の個性と創造力を生かし、豊かさを実感できる街の実現を目指す。

質問 小さな政府の実現が急務だ。①新BOP職員の非常勤化など、職員定数の削減に一層取り組み。②地域行政制度の効率性を高めるため、本庁と支所との業務分担を再構築せよ。

区長 助役 保健福祉部長ほか ①積極的に推進する。②制度の理念を堅持しながら、今後のあり方を検討する。

質問 13年度予算でも、投資的経費が減少している。新たな行政需要に柔軟に対応できる税財政の構造改革を図れ。

区長 助役 自主財源の確保や、徹底した歳出抑制に努める。

質問 オウム信者の集団転入などで、区民に不安が募っている。区民の安全と安心の確保に全力を挙げよ。

助役 警察との連携強化などを含め、

公明党

飯塚 和道議員

質問 ①21世紀の魅力ある世田谷の実現に向け、新たな発想でビジョンを作れ。②区民本位の区政改革を行うため、施策評価に区民の声を一層取り入れよ。

区長 助役 世田谷支所長 ①区民が誇れるものになりたい。②まず議会の論議を踏まえ、広く区民の意見も聞く。

質問 介護保険の低所得者対策では、①利用料減免の対象サービスを拡大せよ。②区独自の保険料減免策も講じよ。

助役 ①積極的に検討したい。②国の動向を見定め、早急に結論を出したい。

質問 低年齢保育の拡充に、保育ママなどの民間の力を一層活用せよ。助役 積極的に取り組む。質問 聴覚障害を早期に見出すため、新生児の聴覚検査の実施を都に求めよ。

安全対策の条例化を視野に取り組み。

質問 ①地域社会に貢献しているNPO団体を支援せよ。②文化系財団の統合を単なるリストアップにとどめず、区民活動の一層の活性化につなげよ。

助役 生活文化部長 ①支援指針の策定に合わせ、条例化も視野に入れて検討する。②支援事業を強化していく。

質問 世田谷清掃工場建て替えの基本計画が、清掃事務組合で決定された。これまでの区の対応状況を示せ。

清掃課長 区内のごみ排出量に見合った規模となるよう要請している。質問 介護保険料の全額徴収開始で、生活保護を受けずに努力している低所得者の負担が増加する。対策を講じよ。

保健福祉部長 国の特別対策の動向を見て、区の結論を出していきたい。

質問 区の公用車のディーゼル車全廃の方針を評価する。区内事業者にも低公害車の導入を働きかけよ。

環境災害室長 方針の趣旨を周知し、情報提供や協力要請を行う。

質問 産業構造の変化や景気低迷などで、区内産業を取り巻く環境は厳しい。保健所長 強く要請していく。

質問 清掃リサイクル事業の進展には、区民がコスト意識を持つことが大切だ。事業収支を分かりやすく公表せよ。

清掃課長 工夫していく。質問 国立小児病院の跡地が、防災や福祉の観点で整備されるよう、取得する事業者を要請せよ。

政策経営部長 積極的に取り組む。質問 都は下北沢付近の小田急線連立事業を地下方式で進めると表明した。駅周辺の街づくり計画の策定を急げ。

助役 駅前広場整備構想を早急に策定し、地元住民に示していきたい。

質問 人と動物が共生できる社会の実現に向け、早急に動物愛護条例を作れ。

区長 保健所長 9月を目途に具体化に向け努力していきたい。質問 不登校児童・生徒を一層支援するため、ほっとスクールを増設せよ。教育長 具体的な検討を進める。

今後の産業振興の展望と方策を示せ。

助役 効果的な施策の展開に努める。質問 ①都は下北沢付近の小田急線連立事業を地下方式で行うと表明した。

3駅周辺街づくりに力を注げ。②交通不便地域での、(ア)福祉バスを使った乗合バスの試験運行が行われる。早期のバス事業者による本格運行を目指せ。

(イ)コミュニティバスの導入も検討せよ。助役 都市整備部長 ①地元の意見を聞き、駅前広場整備構想をまとめた。

②(ア)事業者と協議していく。(イ)バス事業者による路線開設を原則としている。質問 ①中学校の部活動の活性化に取り組め。②地域コミュニティの形成に有益な生涯学習施策を充実せよ。

教育長 ①学校間の合同部活動実施などの検討を進める。②学校を活動の場として活用し、施策を展開していく。



民主党・無所属クラブ

西村 孝議員

質問 区の将来像を描くには、過去の検証が必要だ。ここ10年の区政をどのように認識しているのか。

区長 行政システムの構造改革を迫られた時代ととらえている。質問 多様化する行政需要に応えるため、将来を見通して財政運営に当たれ。

区長 助役 適切な財源配分に努める。質問 学校教育は子どもへの健全な成長への重要な役割を担っている。①基

日本共産党

田中 美代子議員

質問 ①区は小中学校の小人学級級化を推進すべきだ。分りやすい授業を行うため、小学校1・2年生の39人以上の全クラスに区独自で1名の講師を派遣せよ。②区民に反対の多い学校給食の民間委託は再検討せよ。③日本の侵略戦争の歴史を正しく教えよ。④サッカーくじを未成年者が購入できないよう販売店などへの指導を徹底せよ。

区長 教育長 生活文化部長 ①1ク

生活者ネットワーク

森川 礼子議員

質問 区政の活性化が一層求められている。①区長は指導力を発揮せよ。②多額の借金を抱えた財政構造を改善せよ。③導入される再任用制度を区民サービスの向上に生かせ。④区民参画を明記した自治基本条例を作れ。

区長 助役 財務部長 ①創造性の高い施策を全力で進める。②財政構造改革を強力に推進する。③職員の知識や経験を一層活用する。④研究したい。

質問 ①世田谷清掃工場建て替えでのガス化溶融炉の導入は課題が多い。区民への説明責任を果たせ。②こみの減

本方針を示せ。②総合的な学習の時間で、リサイクルの大切さを学ばせよ。

教育長 教育政策部長 ①生きる力を育む教育を進める。②強力に推進する。

質問 建て替え予定の世田谷清掃工場の焼却能力は、こみの減少に見合ったものにせよ。

助役 清掃事務組合に要望している。質問 24時間医療を行う総合緊急診療科(BR)の整備を国や都に要請せよ。

保健福祉部長 研究していきたい。質問 オウム信者の転入問題を打開するため、区民生活安全条例を制定せよ。助役 検討したい。

ラス平均39人以上の学年には1名の派遣を行う。②順次委託を進める。③平和を愛する人間の育成に努める。④販売禁止の徹底を要請する。

質問 青年の雇用対策と行政の継続性確保のため、職員の新規採用を増やせ。総務部長 優秀な職員の採用に努める。

質問 介護保険では、①利用料の軽減をすべての在宅サービスに拡大せよ。②保険料の減免制度の創設を急げ。③特養ホームを増設し待機者解消を図れ。

在宅課長ほか ①実態調査を基に検討する。②国の動向を見守る。③民間による整備を誘導していく。

少に合わせ、こみゼロプランを見直せ。③清掃事業では資源循環を最優先せよ。

区長 助役 清掃課長ほか ①引き続き情報提供を行う。②実態に即した減量目標を設定していく。③区民や事業者と連携して着実に進める。

質問 介護保険を真に区民のためになる制度とするため、①利用率の向上策を工夫せよ。②14年度以降の家族介護見舞金給付への区の見解を示せ。③療養型病床群への転換を医療機関に働きかけよ。④福祉関連のNPOの支援に地域福祉推進基金を活用せよ。

助役 保健福祉部長ほか ①利用しやすい制度の運営に努める。②国の方針に従う。③誘導策の実施を国や都に求める。④活用方法を早急に検討する。

社会民主党

桜井 征夫議員

質問 国保料などの社会保障の区民負担を増加を防ぐため、固定資産税の区移管など安定的な財源の確保に向けた制度の改善を、国や都に強く求めよ。

②区の福祉サービスの提供水準を明確にし、必要な財源を十分確保せよ。

区長 助役 保健福祉部長ほか ①税財源の移譲を強力に働きかけていく。

質問 長引く不況の下、区民生活は大変厳しい。開発優先から区民福祉最優先の区政に転換せよ。

区長 助役 区民本位の区政を目指す。質問 大蔵病院は、来年からの高度専門医療開始を前に患者の追い払いを始めている。こうした問題の解決や地域医療の存続を国に要請せよ。

保健福祉部長 強く働きかける。質問 自衛隊三宿駐屯地への医学実験隊の設置が決定し、住民の不安が広がっている。説明会の開催を国に求めよ。

区長 助役 政策経営部長 区が得た情報を地元町会などに提供していく。

質問 緑を守るため、①地区計画の策定に当該地区周辺の住民も参加させよ。②開発規制は隣接自治体と整合させよ。③国分寺線緑の保全に全力を挙げよ。④民有地の緑化を一層働きかけよ。

助役 福祉部長ほか ①広く意見を聞く。②調整を図る。③早急に対応策をまとめる。④積極的に取り組む。



②財政構造の改革を進めていく。質問 災害被災者の生活再建を支援する区独自の基金制度の創設を急げ。

環境災害室長 生活再建支援法の早期適用などにより、対応していきたい。

質問 世田谷型地域福祉の推進は、地域経済の活性化にも有効だ。人材バンクを創設するなど、地域の潜在的な福祉人材の活用を積極的に進めよ。

保健福祉部長 人材発掘などに努める。質問 障害児の普通学級への就学基準を緩和する考え方が国で示された。区は障害児を普通学級に一層受け入れよ。教育長 環境整備に努めている。

一般質問

3月2日及び5日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。

小畑 敏雄議員(自民)

質問 ①宅地開発などでは、地権者の権利と周辺の環境保全のバランスが重要だ。(ア)区の街づくりの基本方針を示せ。(イ)環境審議会の対象外の開発計画を審議する第三者機関を設けよ。②成城グリーンプラザ跡地周辺の地区計画見直しでの区の考えを示せ。③路線バスの運行は補助金なしが基本だ。南北バスへの補助金計上の理由を示せ。

山口 拓議員(民・無)

質問 ①21世紀を迎え、基礎的自治体としての未来の世田谷を考へるべきだ。①区のビジョンを示せ。②全国で市町村合併の動きがあるが、区は合併ではなく、政令指定都市を目指せ。③IT化への対応が急務だ。④IT講習会を円滑に実施せよ。⑤区が進めてきた情報化施策も一層強化せよ。

区長 政策経営部長ほか

①希望と創造の世紀となるよう、先駆的な施策を全力で進める。②広く意見を求めていく。③①万全を期す。④推進計画を改定し、積極的に展開したい。

宇田川 国一議員(自民)

質問 ①学校給食調理業務の民間委託では、①円滑な運営が栄養士の力量に左右される。非常勤職員を含め、資質向上に力を入れよ。②業者選定の公正性を確保せよ。③地元商店街の参入も促せ。④FM世田谷で始める生涯学習講座では、①区民の学習意欲を喚起する、地域に密着した番組を作れ。②高齢者などを対象にしたものも設けよ。

教育長 教育次長

①研修などを充実する。②今後も慎重に行う。③検討課題とする。④①対談や相談など番組内容を工夫する。⑤対象を広げたい。

大庭 正明議員(行革10番)

質問 区が主催するマンションの管理講座などで、講師を集合住宅管理組合センターに依頼している。ここは集合住宅維持管理機構という修繕業務の事

業部門を持ち、事実上情報が筒抜けになつてきた。区の主催事業が営利行為に利用されかねず、問題だ。①区に道義的責任はないのか。②今後も同センターに依頼するつもりなのか。

建設住宅部長

①営業活動を行っているとすれば大変遺憾だ。②更に詳しく事実関係の調査を進め、結果を見極めて厳正に対処する。

山木 きよ子議員(生活ネ)

質問 ①今年の成人式では、各地で問題が続出し、式のあり方が問われた。企画運営に新成人を加えるなど、時代に合った開催方法を検討せよ。②区民との協働体制づくりに向け、①区民施設は地域の実情に合わせて運営せよ。②住民の意見を十分聞けるよう、地区懇談会の運営方法を見直せ。③清掃リサイクル事業での協働も更に進めよ。

生活文化部長ほか

①工夫していく。②一層の改善を図る。③施策に反映させる仕組みづくりに努める。④地区に推進委員会を設立して取り組む。

下条 忠雄議員(改革派)

質問 非営利のボランティア団体「集住センター」の下部組織「集住機構」が割高な工事を斡旋、マンション居住者に被害が流出。で都は、都の分譲マンション情報誌から「集住センター」の掲載を削除、関係を断った。が区は継続している。①何故か。②区は新しい公共と区民と業者の「協働」を吹聴しているが、同団体は非営利を隠れ蓑に集客活動をしている。即刻切れ。

建設住宅部長

①区セミナーでの講師依頼は行っていない。②情報を分析し、不都合が認められれば適切に措置する。

五十畑 孝司議員(自民)

質問 ①21世紀の健康づくり施策は、セルフケアに重点を置いて推進することが肝要だ。区民の主体的な健康管理の啓発や、ボランティアなどとの連携体制づくりを積極的に進めよ。②介護保険のケアプラン作成には、利用者の健康状態をよく知る医師の意見を反映することが重要だ。プラン作成時にかかりつけ医がかかわる仕組みを作れ。

助役 保健福祉部長

①13年度中を目途に健康せがやプランを策定して進める。②主治医との連携を強化するようケアマネージャーを指導する。

岸 武志議員(共産)

質問 ①世田谷清掃工場の建て替えには住民意見を最大限取り入れ、①焼却炉の数はごみの減少に合わせて1基に減らせ。②ガス化溶融炉は採用するな。

三子玉川再開発の基本設計費の計上

は巨額の税金投入の口火を切るものだ。予算計上するな。②多くの子どもが利用している、世田谷と玉川野毛町公園のプールは廃止せず存続を図れ。

教育長 清掃リサイクル部長ほか

①小規模化を要望した。②導入が適当と判断した。③広域生活拠点として整備を進める。④施設のあり方を再検討する。

谷 逸子議員(公明)

質問 ①読書は子どもたちの思考能力や想像力を育む。乳児期からの家庭での読み聞かせを広めるため、乳児健診の際に絵本や子育て情報紙などを贈るブックスタート運動を実施せよ。②多動性障害児(AHDH)の通級学級を設けよ。③今年度はボランティア国際年。意義や目的の周知に努めるとともに、参加が促進される環境整備に取り組み。

教育次長ほか

①乳児期から本に親しめる環境づくりを進めたい。②子どもたちの状態に応じた配慮をするよう教員を指導する。④啓発などを行っていく。

小野 裕次郎議員(民・無)

質問 ①保育サービスの一層の充実が必要だ。①就労希望者への配慮など、入園選考は工夫を凝らせ。②延長保育など多様化するニーズに柔軟に対応せよ。③民間を活用したサービスも充実させよ。④ベンチャー企業などの育成に学校統廃合後の校舎を活用せよ。⑤自己評価による行政評価は限界にきている。外部評価の手法を取り入れよ。

政策経営部長ほか

①公正性を確保する。②積極的に取り組む。③一層活用する。④活用方法を検討している。⑤今後の取り組みの中で研究する。

川上 和彦議員(自民)

質問 オウム真理教の信者が烏山に大量転入して以来、周辺住民は子どもも大人も、不安な生活を強いられている。住民は信者の進出反対運動をしているが、区の支援は不十分だ。①住民に安心を与えるためにも、区長はリーダーシップを強力に発揮し、問題の解決に当たれ。②問題の長期化が予想される中、十分な体制を確立し運動を支えよ。

区長 助役 総務部長

①国や都に根本的な解決策を強く求めるとともに、区長を先頭に早期解決に全力で取り組む。②全庁を挙げた支援体制を整える。

石塚 一信議員(自民)

質問 これまで行政は区民の求めに応じサービスを拡大してきた。しかし、例えば、放置自転車問題のように区政が抱える課題の多くは、区民一人ひとりがマナーを守れば解決できる。今後の区政は、長期的な視野に立ち行政と区民の役割と責任の分担を明確にし、区民の自己責任を基本に据えて展開すべきと考え、区の見解を示せ。

区長 助役 行政、事業者、個人がそれぞれ

の責任を果たし、思いやりを持ち、豊かさを実感できる社会の実現に取り組みたい。

木下 泰之議員(無党派)

質問 ①北沢4丁目の違反建築では、①停止処分中に工事の再開を認められたはなぜか。②虚偽売買契約書を示しての確認申請が明らかな以上、取り消せ。

申請人は松原での要綱違反業者と同一か。③経堂1丁目の建築違反では、①高さ制限違反をなぜ不問にしたのか。②是正内容を近隣住民に説明せよ。北沢支所長ほか

①是正を確認し一部再開を認めた。②法令上の審査を適正に行った。③同一事業者と思われる。④斜線制限違反の是正で解消された。⑤引き続き施工者に求める。

阿部 力也議員(民・無)

質問 ①活力ある地域社会を維持するため、ファミリー層への住宅施策が不可欠だ。良好な既存の民間住宅を認定し、その家賃を一定期間補助する制度を導入せよ。②ペットは単に愛玩動物というだけでなく、人の心のケアにも大変有用だ。①区営住宅でペットを飼育できるよう、ルールづくりなどを行え。②ペット条例の早期制定も要望する。

建設住宅部長

①対象世帯数の動向を見ながら、今後の課題としたい。②強い関心を持って、都の検討委員会の状況を見守っていききたい。

箱尾 淑議員(共産)

質問 ①家電リサイクル法の施行では、①低所得者の費用負担を軽減せよ。②量販店がリサイクル料などを取らずに家電を安く売れば小売店は圧迫される。対策を講じよ。③声花公園団地の建て替えでは、①工事車両により千歳通りの渋滞が予想される。対処せよ。②高齢者福祉施設を整備せよ。③京王線の南北を結ぶ歩行者用地下通路を設けよ。烏山支所長ほか

①慎重に対応したい。②法の趣旨のPRに努める。③強く指導していく。④事業者に整備を求める。⑤実現に向け努力する。

菅沼 つとむ議員(自民)

質問 ①世田谷清掃工場の建て替えでは、①迷惑施設だという認識に立ち、周辺住民の要望に清掃事務組合とともに十分応えよ。②周辺道路の渋滞問題にも対策を講じよ。③けやきネットの導入で、地域の団体が施設を借りられない場合が多くなった。地域の実情に合わせた優先利用制度などを設けよ。④呑川緑道の整備を急げ。

助役 清掃リサイクル部長ほか

①強く求めていく。②今後も関係部署と連携し対応する。③改善に向け工夫していく。④未整備区間の早期着工に努める。



烏山 晋一議員(自民)

質問 ①都は下北沢付近の小田急線立事業を地下方式で行うと表明した。①世田谷代田駅と東北沢駅の廃止の噂で、地元には不安が生じている。早急に事実確認を行え。②下北沢駅周辺街づくりでは、井の頭線の盛土部分を高架化し、駅への通路や駐輪場などを整備せよ。③補助54号線の整備では街を分断しないよう、構造を工夫せよ。

助役 都市整備部長ほか

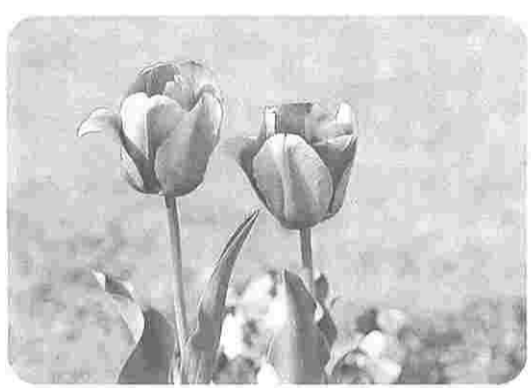
①駅は廃止しないとの回答を得た。②鉄道事業者に積極的に働きかける。③地表式で整備されると聞いている。

木村 幸雄議員(自民)

質問 ①区民に分かりにくいカタカナの行政用語は、国の答申を参考に改善せよ。②地域を活性化するため、人材発掘事業を積極的に進めよ。③滞納整理などの税務事務が本庁に集中化された。成果を示せ。④上野毛駅へのトイレの設置は地元の長年の念願だ。早期設置を鉄道事業者に強く求めよ。

助役 総務部長ほか

①易しく分かりやすい言葉を使用していく。②地域団体などと協力し進めていく。③徴収率が約20%向上した。④区が公衆便所を設置することも含め、取り組んでいく。



一般質問

3ページの続き

小口 義晴議員(公明)

質問 〇桜上水駅付近の整備を住民が強く求めている。①駐輪場に集会施設を併設せよ。②大踏切は開いている時間が短く大変危険だ。地下通路を設置せよ。③公衆トイレも設けよ。〇I.T講習会は、区民の情報化への理解を深めるものだ。①事業終了後も中学校でパソコン教室を継続せよ。②受講者に役立つものになるよう万全を期せよ。

北沢支所長ほか

〇〇空き店舗などの活用を検討している。②鉄道事業者と協議する。③検討したい。〇〇取り組む。②実施方法などを工夫する。上島 よしもり議員(自由)

質問

〇〇区は自立した自治体として、財務能力を備えることが必要だ。区債の発行では、①財政投融資改革で資金調達にも影響が出るのではないかと。②区の信用力の向上に努め、区債を商品として十分魅力あるものにせよ。〇〇教科書の選定は新学習指導要領に沿って行え。②区立小中学校で使用している教科書を図書館に備えよ。

助役 財務部長ほか

〇〇国の運用状況を見守る。②23区の検討会で研究している。〇〇公正に行うよう努める。②配置場所の拡大を検討する。唐沢 敏美議員(社民)

質問

〇〇活力ある区政を進めるため、増加する中高年職員の能力と意欲の向上に力を注げ。〇〇児童虐待の防止など子ども施策の強化が急務だ。①施策の優先順位を明示し、着実に進めよ。②区民との協働の下、地域の子育て力を高めよ。③子どもが自ら育つ環境も整備せよ。〇〇奥沢地区へのデイホームの早期設置を強く要望する。

助役 総務部長ほか

〇〇豊富な経験などが生かされるよう工夫する。〇〇総合的な対策を講じていく。②地域ぐるみで取り組む。③具体的に進めたい。奥村 まさ議員(民無)

質問

〇〇安心して子育てができる環境づくりが大切だ。①区のビジョンを示せ。②(ア)地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくりを支援せよ。(イ)身近な所で子

育ての悩みを気軽に相談できるように、地域の子育て経験者を活用せよ。③児童虐待の早期発見に向け、教職員を初めとする関係職員の研修に万全を期せよ。

助役 教育長 保健福祉部長ほか

〇〇子どもを核とする豊かな人間関係に支えられた地域社会を築く。②(ア)地域の教育力を高める。(イ)具体策を検討している。③積極的に取り組む。新川 勝二議員(自民)

質問

〇〇世田谷清掃工場の建て替えでは、①周辺住民の意見を反映させるため、継続的な協議の場の設置を清掃事務組合に求めよ。②環境影響評価手続のスケジュールを示せ。〇〇阪神・淡路大震災から6年が過ぎ、防災意識が希薄になっている。平時からの災害対策に一層力を入れよ。〇〇公共工事の品質確保とコスト削減に一層取り組む。清掃課長ほか

〇〇住民の意向を確認する。②5月に評価書案が示される。〇〇初動態勢を強化する。〇〇設計から竣工まで厳密にチェックしている。市川 康憲議員(公明)

質問

〇〇公衆浴場が減少し、風呂なし住宅に住む高齢者などが大変困っている。入浴機会の確保に早急に取り組め。〇〇高齢者などの住宅施策の充実が求められる。①住み替え家賃助成制度の見直しで、助成期間が2年だけになる。利用者の不安解消に精力的に取り組め。②新たに実施する居住支援制度では身近な窓口で申請ができるよう考慮せよ。区長 助役 建設住宅部長

〇〇公衆浴場への支援など具体的に検討する。〇〇多様な手法で進める。②利用者にとって便利な制度にしていく。高橋 忍議員(民無)

質問

〇〇情報公開条例の改正で外部団体の情報公開の努力義務が盛り込まれた。公開を促進するため、モデルとなる要綱を提示するなど指導を強化せよ。〇〇住民基本台帳のネットワーキ化では個人情報流出などが懸念される。住民の十分な理解や、財源の見通しが得られるまで予算を凍結してはどうか。政策経営部長ほか

〇〇株式会社用と公

益法人用のモデル要綱案を作成し、外部団体に提案していく。〇〇制度の趣旨の区民への周知に努めるとともに、財源措置を国に強く求める。

長谷川 義樹議員(公明)

〇〇自転車利用に伴う諸課題の解決に向け、①小田急線連立事業では駅近くに駐輪場を十分確保せよ。②買い物客の駐輪対策に取り組め。③自転車専用道を整備せよ。④自転車登録制は一部ではなく全区一斉に行え。〇〇児童虐待の防止に向け、①国や都の地域ネットワーク事業に参加せよ。②検討中の子ども権利条例にも具体策を入れよ。建設住宅部長ほか

〇〇強く要請する。②拡大を検討する。③警察とも協議したい。④検討したい。〇〇国の動向も見て取り組む。②広く意見を聞く。平山 八郎議員(自民)

質問

〇〇住民票をだれもが取得できることを悪用し、不動産をだまし取られる事件が起きた。住民票の交付手続きを改善せよ。〇〇日教組大会で教員が来賓に罵声を浴びせ問題となった。一方、障害児を受け入れて立派な教育を行った区立小中学校の教員が、ベストセラーの本で紹介されている。後者こそ真の教員像と考えるが、区の見解を示せ。区長 教育長 世田谷支所長

〇〇住民情報保護の強化を国や都に求めていく。〇〇教員の資質の一層の向上を目指して積極的に取り組んでいく。

増田 信之議員(公明)

〇〇ボランティアのおもちゃの診療所を積極的に支援せよ。〇〇動物愛護の精神を広めるため、①広報の充実を図れ。②都のノラ猫対策モデル事業を実施せよ。③条例を制定し職員の意識改革も図れ。〇〇保育サービス改善のため、①0歳児保育の充実には、民間の保育室・保育ママなどを活用せよ。②区の方針を担当部署に徹底せよ。助役 清掃課長ほか

〇〇検討したい。〇〇PRに努める。②検討したい。③今後も啓発する。〇〇多様な手法で拡大する。②一九となり取り組む。嘉部 広司議員(共産)

質問

〇〇小田急線連立事業の、①高架下を活用し、改札口の近くに駐輪場を設けよ。②高架下利用案は、都などと協議する前に、街づくり協議会の意向を十分反映させよ。〇〇成城グリーンプラザ跡地の、建ぺい率などを緩和する都市計画の変更は、周辺の景観や環境を破壊する。①規制は緩和するな。②変更手続きの公告・縦覧は延期せよ。都市整備部長ほか

〇〇適切に配置されるよう協議していく。②意見を反映させた案だ。〇〇乱開発防止のために必要だ。②閲覧期間は十分設けたい。小泉 たま子議員(新風21)

質問

〇〇区民感覚での区政運営が大切だ。①点在する施設を地区の拠点として再編し、地区で行政サービスを完結させよ。②責任を持って課題を解決するよう、出張所など、地区にも管理職を配置せよ。〇〇NPOなどによる痴呆性高齢者グループホームの整備の支援を行え。②障害者の親なき後の生活の場を、住み慣れた場所に確保せよ。助役 世田谷支所長ほか

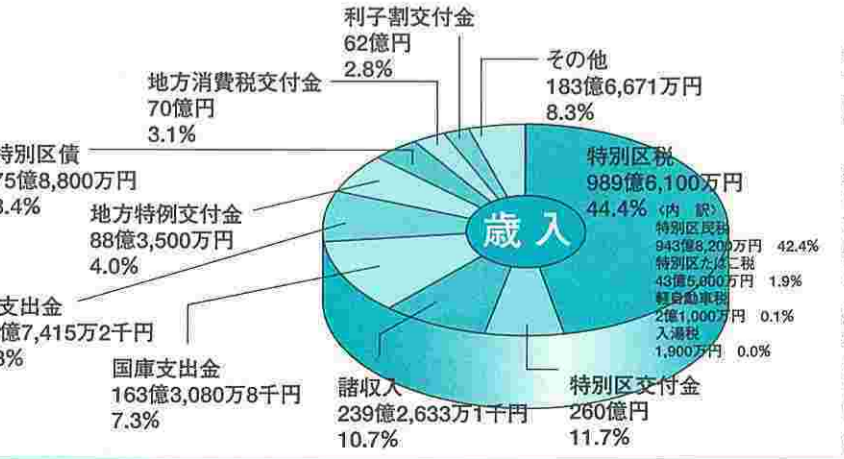


会派名 自民・自由民主党区議員 公明・公明会派議員 民無・民無生活クラブ 共産・日本共産党区議員 生活ネット 福祉ネット 社民・社民生活ネット 改革派 無党派 無党派市民 新風21 新風21 自由

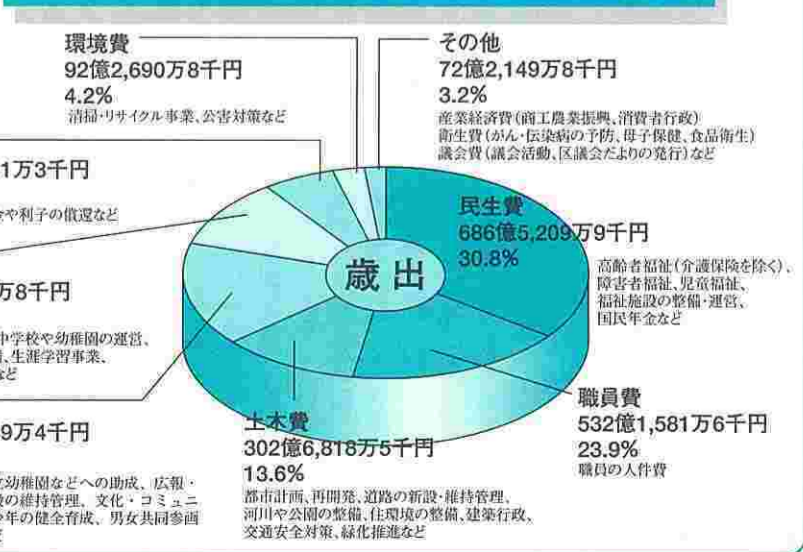
●平成13年度各会計予算●

Table with 3 columns: 内容 (Content), 対前年度比伸び率 (%) (Change rate vs previous year), and 金額 (Amount). Rows include 一般会計 (General account), 国民健康保険事業会計 (National health insurance), 老人保健医療会計 (Elderly medical care), 介護保険事業会計 (Nursing insurance), 中学校給食費会計 (Middle school lunch fee), and 計 (Total).

一般会計予算の内訳 (%=構成比)



平成13年度 予算のあらまし



予算特別委員会での
主な質疑・要望事項

平成13年度予算の審査のため予算特別委員会を設置し、7日間にわたり慎重に審査しました。その要旨をお伝えします。

企画総務領域

自由民主党

- 区施設の計画的な改築と有効活用
- 長期の展望に立った組織の改正
- 本庁舎の早期建て替え
- 政策評価システムの改善
- 区の将来を展望するビジョンの策定
- 政令市実現への取り組み強化
- 職員定数の一層の削減
- 職員の専門能力の育成と活用
- オウム問題への万全な対応
- 退職職員の再任用制度の円滑な導入
- 財政基盤確立に向けた取り組み強化
- 歳出抑制の徹底と基金の有効活用
- 行財政改善へのさらなる取り組み

公明党

- 行政改革の強力な推進（官民の役割分担の明確化、内部努力の徹底など）
- 政策評価の着実な推進
- ICT講習会の円滑な実施
- 庁有車の事故防止対策の徹底
- 職員育成への取り組み強化
- 危機管理への万全な取り組み
- 都への財源移譲の強力な要請

民主党・無所属クラブ

- 外部機関による政策評価の実施
- ICT講習会の効果的な実施（多様な講座の実施など）
- 組織の活性化への強力な取り組み
- 外郭団体への情報公開推進の指導

日本共産党

- オウム問題への強力な取り組み（立ち退き要求運動の拡大、転居希望者への支援、訴訟費用の援助）
- 私立幼稚園保育料補助金の増額
- 生活者ネットワーク

- 危機管理への強力な取り組み
- 能力開発を重視した職員研修の実施
- 分かりやすい予算書への早急な改善
- 社会民主党

区民生活領域

自由民主党

- 政策的な地域行政制度への改善
- カラス公害対策の強化
- 住基ネットの円滑な導入
- 子どもの権利条約制定への取り組み
- 青少年の自主活動への支援強化
- 区民の安全、安心確保の推進
- たばこポイ捨て防止対策の強化
- 防災対策の一層の強化（助け合いネットワークの整備など）
- 生産緑地を活用した区民農園の確保
- 高齢者訪問ごみ収集の早期本格実施
- 世田谷清掃工場改築での取り組み（環境や経費に配慮した炉の導入など）

公明党

- 地域行政制度の着実な推進
- オウム問題への取り組み強化
- 利用しやすいみどり会館への改善
- 温水洗浄器付障害者用トイレの増設
- 在住外国人に対する施策の充実
- ガス化溶融炉導入上の問題への対応（プラスチックごみの資源化推進など）
- ごみ訪問収集の全障害者への拡大

民主党・無所属クラブ

- 住基ネット導入への慎重な対応
- 区内への火葬場の建設
- 男性の子育て参加促進の啓発
- 防災への取り組みの強化

家電リサイクル法の十分なPR

- 政策評価の一層の充実
- 職員の人材育成への取り組み強化
- 反政党・改革派
- 区長と現業労組との選挙による癒着
- 世田谷区議会自由党
- 問題の多い退職職員の再任用制度
- 無党派市民
- 情報公開新条例で開示縮小をするな
- 新風 21
- 地区を中心に据えた区政への転換
- 世田谷区議会自由党
- ICカード導入での公金管理の強化

社会民主党

- 住基ネット導入の慎重な検討
- 区民参加での世田谷清掃工場の改築
- 資源循環型の清掃事業の推進
- 社会民主党
- 住基ネット導入の慎重な検討
- 区民参加での世田谷清掃工場の改築
- 反政党・改革派
- 清掃所管の非常勤職員雇用の疑惑
- 世田谷区議会自由党
- 鳥山地域への警察署設置の要請
- 無党派市民
- 今こそ小田急は地下に地上は緑道を
- 新風 21
- 出張所での行政サービスの拡充
- 世田谷区議会自由党
- 在住外国人の区政参画の機会拡充

福祉保健領域

自由民主党

- 地区での保健福祉まちづくりの展開
- 介護保険の充実（低所得者の保険料軽減の検討、療養型病床群への転換促進、認定変更事務の迅速化など）
- シルバー人材センターへの支援強化
- 子どもプランの進行管理の徹底
- 国保会計健全化の国への要請
- 歯科保健施策の推進（健康せががやプランへの位置付け、歯周病検診の成人全員への拡大など）
- 障害者自立支援施策の一層の推進
- 分かりやすい障害者施策計画の策定
- 奥沢地区へのデイホームの早期開設
- 公明党
- 介護保険の低所得者対策の強化（区

- 独自の保険料軽減策の実施など）
- 介護保険苦情審査会の役割の充実
- 保育施策の抜本的な改善（民間活用による低年齢保育の拡大など）
- ファミリーサポートの円滑な実施
- 新生児聴覚検査の早期実施
- 奥沢地区へのデイホームの早期開設
- 民主党・無所属クラブ
- 児童虐待防止への積極的な取り組み
- 実効性ある健康づくり計画の策定
- 感染症などへの危機管理の強化
- 成年後見制度の利用促進策の充実
- 障害者の親亡き後対策の拡充
- 日本共産党
- 介護保険の負担の軽減（利用料減免の早期拡充、保険料軽減の実施）
- 新BOPの学童クラブ機能の堅持
- 保育園待機児の早期解消
- 奥沢地区へのデイホームの早期開設
- 生活者ネットワーク
- 介護保険定着化への取り組み強化
- 支えあいミニデイへの支援の拡充
- 保育待機児解消への多様な取り組み
- 社会民主党
- 精神障害者施策への強力な取り組み
- 奥沢地区へのデイホームの早期開設
- 反政党・改革派
- 巨費を投じている検診事業の見直し
- 世田谷区議会自由党
- 路上生活者対策の早急な実施
- 無党派市民
- オウム対策は専門家の協力が不可欠
- 新風 21
- 地区の保健福祉拠点の整備
- 世田谷区議会自由党
- 区独自の国保財政改善計画の策定

都市整備領域

自由民主党

- 小田急線下北沢付近地下化への対応（特性を生かした街づくり、補助54号線の整備促進など）
- 祐公園移管の都への強力な要請
- 開発計画の第三者機関への諮問
- 店舗や住宅のバリアフリー化の促進
- 京王線連立の事業化への働きかけ
- 宇奈根のバス運行の早期本格実施
- 希望丘へ八幡山バス路線開設の検討
- エイトライナー実現への取り組み

- 電線地中化を促す道路占用料の設定
- 外環道整備促進への取り組み強化
- 放置自転車ゼロへの啓発手法の工夫
- 公明党
- 桜上水駅踏切への地下通路の整備
- 若花団地再開発に合わせた周辺整備
- 歩行者優先の街づくりの推進
- 乳幼児に配慮したバリアフリー推進
- 桜上水駅・小田急沿線のバスの運行
- 自転車利用総合計画の実効性の確保
- 区境道路の交通安全の十分な対策
- 高齢者の居住支援事業の円滑な実施
- 民主党・無所属クラブ
- 小田急線高架下の利用促進
- 成城4丁目再開発での環境への配慮
- 公園と土木の管理事務所の統合
- 用途地域見直しの円滑な実施
- 建築関連指導要綱の早期条例化
- 日本共産党
- 住民参加での下北沢駅周辺の整備
- 小田急線高架下利用の説明会の実施
- 駐輪場利用料金の引下げ
- 住宅整備方針の具体化（せががやの事業の再開、最低居住水準の確保）
- 生活者ネットワーク
- 地区計画変更への市民参加の拡大
- 団地改築時のバリアフリー化の要請
- ミニ開発防止への取り組みの強化
- 社会民主党
- 成城4丁目再開発での緑の保全推進
- 都市復興計画策定への取り組み強化
- 狭あい道路拡幅整備での指導徹底
- 世田谷区議会自由党
- マンションライフフェアの運営改善
- 無党派市民
- 下北沢小田急地下化秘匿の十年断罪
- 新風 21
- 次の世代に誇れる道路づくり
- 世田谷区議会自由党
- 狭あい道路拡幅整備の着実な推進

文教領域

自由民主党

- STE P事業の積極的な推進
- 地域スポーツ活性化への環境整備
- スポーツ事業の財団への完全な移管
- 特色ある学校づくりへの取り組み
- 学校給食調理業務委託の着実な推進

- まちかど図書室などの早期見直し
- 新BOP職員非常勤化の強力な推進
- 教科書採択への主体的な取り組み
- 学校協議会の充実
- 商店街での体験学習方法の改善
- 学校完全週5日制への万全な準備
- 中学校への絶対評価の導入
- 学校での英語教育の一層の充実
- 公明党
- 教育改革の積極的な推進
- 区内大学を活用した生涯学習の拡充
- スポーツ振興施策の一層の展開
- 学級編制の弾力的運用の拡大
- 子どもへの良書普及の取り組み
- 学習障害児対策への強力な取り組み
- 池尻中と新星中の円滑な統合
- 学校完全週5日制への万全な対応
- 民主党・無所属クラブ
- 小中学校の国有地借地料免除の要請
- 全教員への児童虐待防止研修の実施
- ゆとり教育での学力低下の防止
- 小中学校長への民間人の登用
- ほっとスクールの増設
- 日本共産党
- 校庭の芝生化
- 学校給食調理業務の民間委託の中止
- 池尻中と新星中の統合の中止
- 30人学級実現への強力な取り組み
- ほっとスクールの早期増設
- 生活者ネットワーク
- 少人数学級実現への強力な取り組み
- 中学校給食の自校調理方式の拡大
- 家庭教育学級の地域での一層の展開
- 社会民主党
- 池尻中と新星中の統合の慎重な検討
- 新BOPでの学童クラブ機能の堅持
- 反政党・改革派
- 学校給食民間委託反対署名の欺瞞
- 世田谷区議会自由党
- 安全性に配慮した学校の害虫駆除
- 無党派市民
- オウム子女就学問題は教育の試金石
- 新風 21
- 私立に負けない区立学校の実現
- 世田谷区議会自由党
- 14年度教科書採択への万全な準備



平成13年度予算に対する

党派意見のあらまし

3月29日の本会議で、11人の議員が各党派を代表して、平成13年度各会計予算に対する意見を表明しました。その要旨をお伝えします。なお、意見表明者は次のとおりです。

- 自由民主党＝菅野教男議員
- 公明党＝飯塚和道議員
- 民主党・無所属クラブ＝稲垣まさよし議員
- 日本共産党＝岸武志議員
- 生活者ネットワーク＝山木きょう子議員
- 社会民主党＝桜井征夫議員
- 反政党・改革派＝下条忠雄議員
- 世田谷行革110番＝大庭正明議員
- 無党派市民＝木下泰之議員
- 新風21＝小泉たま子議員
- 世田谷区議会自由党＝上島よしもり議員



小さな政府を実現し さらなる区政の発展を

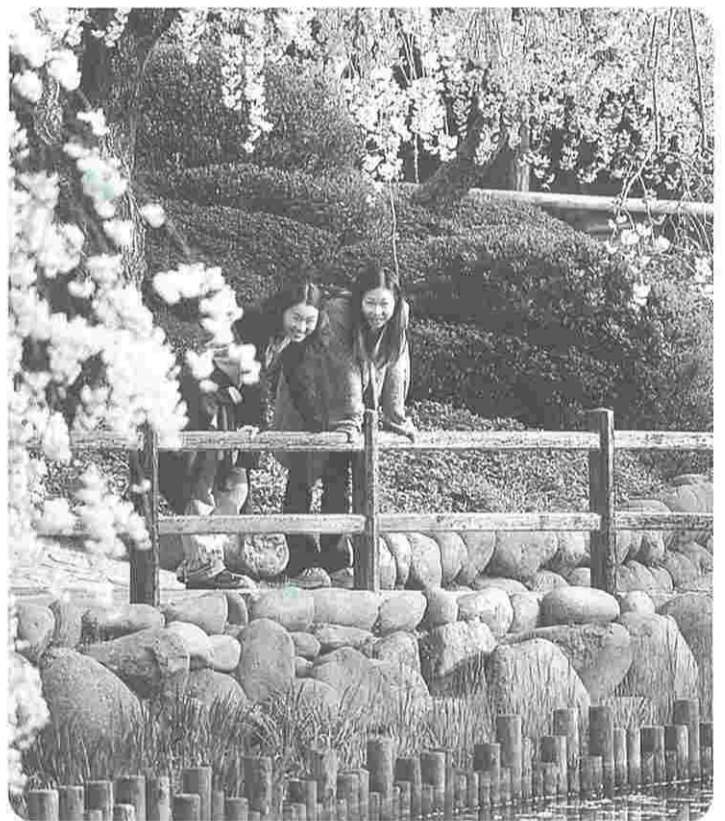
自由民主党

(賛成意見)

今、区政に最も重要なことは、小さな政府を目指した行政改革の断行だ。政策評価支援システムを最大限活用し、効率的で効果的な施策の推進に力を注ぎ、行政が担う事業を精査し、民間委託を更に拡大せよ。特に、学校給食調理業務の委託化には不転の決意で臨め。財源確保と財政基盤の安定化に向け、国や都に税財政制度の改善を要請せよ。債権管理と受益者負担の徹底も図れ。また、効率的な人員配置の実現に向けて現業職の職種統合を人事委員会に求め、職員削減に一層取り組み。

放置自転車は区民の一番の困り事だ。問題の解決に向け、自転車利用総合計画が実効性あるものとなるよう全力を挙げよ。マンション建設などでの周辺住民とのトラブルが増加している。開発と環境保全のバランスを考慮して利害関係の調整に努めよ。小田急線の連立化では、下北沢付近を地下方式で整備する方針を都が表明した。地域特性

や地元の意向を十分に把握し、街づくりを積極的に推進せよ。オウム真理教の進出などで区民の不安が募っている。だれもが安心して生活できる地域社会の実現に一層努めよ。世田谷清掃工場の建て替えでは、財政負担や環境負荷の軽減などの観点から、ガス化溶融炉の導入が最善の選択だ。区民の理解を得られるよう努めよ。介護保険の低所得者向け負担軽減策は、国などの動向を踏まえ、適用範囲を十分に検討し、実施せよ。また、奥沢地区への在宅介護支援センターの早急な設置など、施設整備にも取り組み。児童生徒が減少する中、子どもが切磋琢磨しながら成長できる環境づくりが重要だ。学校規模の適正化を図るため、保護者の理解を得て、統廃合を推進せよ。また、学校間の連携の強化や部活動の活性化などにも取り組み。区長は強力な指導力を発揮し、意欲と情熱を持って区政運営に当たれ。



夢のある世田谷の実現に 全庁挙げて取り組み

公明党

(賛成意見)

21世紀初めの予算に、将来展望が明示されなかったのは残念だ。早急に21世紀の世田谷像を示し、区民に夢と希望を与える区政の実現に強力に取り組め。区の財政状況は依然として厳しい。職員定数の一層の削減など、内部努力を徹底した行政改善を断行せよ。また、財源を確保するため、地方主権を強く主張し、都区財調の交渉に断固たる決意で臨め。法定外目的税など、新税の導入も必要だ。区民に理念を示し十分な理解を得ながら積極的に進めよ。介護保険の実施により低所得者の負担が増大した。保険料減免の実施や利用料の軽減策の拡充を早急に行え。保険外サービスについても対策を講じよ。

清掃リサイクル事業の推進には、区民のコスト意識の醸成が重要だ。収支を分かりやすく公表せよ。また、世田谷清掃工場の建て替えでは、ガス化溶融炉が導入される。資源循環型社会の実現を着実に進めるためにも、プラス

チックごみは焼却しないことを宣言せよ。リサイクルセンターの併設も清掃事務組合に強く求めよ。地域行政制度では、本庁機能をスリム化し、地域で独自に事業を展開することが重要だ。出張所単位での区民サービスの向上を目指し積極的に取り組み。民間やNPOなどの活用も図れ。また、組織改正を行う場合は区民に分かりやすい組織名となるよう工夫せよ。一向に改善されない保育サービス待機児の解消には、保育事業の抜本的な改革への早急な取り組みが不可欠だ。経費の掛かる区立園を見直し、民間の保育室や保育ママなどを一層活用せよ。都は小田急線連立事業の下北沢付近を地下化で進めると表明した。しかし、構造が二線一層か四線平行なのかは示されていない。今後の街づくりを円滑に進めるためにも、早急な決定を都に要請せよ。また、街づくり計画の策定では地元住民の意見を十分反映させよ。



行政の構造改革を推進し 無駄のない区政の実現を

民主党 無所属クラブ

(賛成意見)

基礎的自治体となった区は、区民の期待に今以上に応える政策を展開していかなければならない。安定した区政運営に向け、自主財源を十分確保せよ。また、区長はリーダーシップを発揮し、公約である6つのゼロの実現に強力に取り組め。国が進める住民基本台帳のネットワーク化は莫大な経費を要する上、財源措置が不明確だ。個人情報保護も不十分であり、導入には慎重に対応せよ。また、IT講習会は万全の体制で臨め。職員の業績評価制度を導入し、効率的な業務運営に努めよ。また、今後の定年退職者の増加に備え、退職金支払準備基金を創設せよ。行政情報の区民への徹底した公開が求められている。外郭団体の情報公開を一層推進せよ。火葬場は区民が利用しやすい区内に予定地を決定し、早急に建設を進めよ。災害に強い街を目指し、避難所であ

る学校の改築時に、防災設備を整備せよ。友好都市との防災協定も締結せよ。世田谷清掃工場建て替えでは、ごみの減少に合わせた施設規模への縮小を求めよ。資源化施設の併設も検討せよ。男女共同参画社会の実現に向け、女性の意見を区政に一層反映させよ。また、らぶらすの文生財団への移管も成果のあるものにせよ。学校教育の問題解決に向け、道徳教育の充実、学校選択制の導入や民間人の校長への登用などに取り組み。また、小中学校の国有地の借地料は廃止するよう国に強く働きかけよ。障害者の自立と社会参加を進めるため、就労支援などに力を入れよ。また、成年後見制度の周知を強化し、相談体制を整えよ。更に、介護保険のケアマネージャーやホームヘルパーの賃金の改善を国に働きかけよ。公金紛失の再発を防ぐため、管理体制を強化し、徹底せよ。





区民生活を顧みない 開発優先の区政を改めよ

日本共産党

(一般会計と国保会計と介護会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

深刻化する不況や、医療制度の改善を初めとする社会保障の切り下げで、区民は大変苦しんでいる。こうした状況にもかかわらず、区は、老人福祉手当の削減など、区民のくらしや福祉を切り下げ、二子玉川再開発など、大規模開発事業のための基金を70億円も積み立てようとしており、問題だ。今こそ、開発優先の区政から区民生活を最優先する区政に転換せよ。また、行革のアクションプランは再検討し、低所得者の国保料助成などを復活せよ。

べきだ。小田急線の高架下利用では直ちに住民説明会を開催せよ。下北沢駅周辺の開発は街づくり協議会を設置して進めよ。成城4丁目の再開発での用途地の変更はやめよ。また、せたがやの家事業の再開など、公営住宅の整備の充実を図れ。

また、区立の特養ホームの増設も急げ。保育園待機児を解消するため、保育園を増設せよ。また、小人数学級の実現を目指し、大規模学級に教員1名を増員せよ。更に、日本の侵略戦争を正しく教える歴史教育にも力を注げ。街づくりは住民の合意を得て進める

世田谷清掃工場へのガス化溶融炉導入は、廃プラスチックの焼却につながる。これまで進めてきた資源回収を否定するものだ。まず、区民に十分説明し議論を尽くせ。また、大型店の出店や悪質なミニ開発から良好な住環境を守れ。中小企業への支援策も拡充せよ。

更に、大蔵病院廃止後の地域医療の存続と、患者を転院させる際の医療の継続に責任を持つよう国に強く要請せよ。

介護保険は実施後1年を経過し、様々な課題が明らかになった。具体的には、利用料の1割負担が重いため、利用者がサービスの利用を控える状況も出ている。更に、介護報酬が低めに設定されたこともあり、老人病院の療養型病床群への転換も進んでいない。早



豊かな地域福祉の実現に 全力を挙げて取り組み

社会民主党

(賛成意見)

厳しい財政状況が続く中、多様な歳入確保や行財政改善による効率的な事業執行体制の整備に取り組むことにより、堅実に予算を編成したことを評価する。しかし、区の行財政改善などによる区民負担への影響の検証が欠けている。このため、区民福祉サービスの提供水準が明確でなく、区民の将来に対する不安は解消されていない。また、基礎的自治体となり、地方主権の確立が一層求められる中、先駆的な施策を推進し、混迷の時代を切り開こうとする強い熱意も感じられない。今後は、こうした課題の解決への、より積極的な取り組みを強く要請する。

急な改善に向け強力に取り組め。また、今後、介護保険への障害者福祉の統合が予定されているが、介護保険のサービスでは、障害者の介護サービスを到底担い切れない。その上、自立支援や社会参加に対しては、保険制度以外の個別の制度も必要となる。区は、障害者や家族とともに、真の自立と社会参加が実現できる介護保険制度の確立に向けて早急に検討に着手せよ。

環境問題では、現行の法では規制し切れない開発行為などが、地域の問題として増加している。区内の緑を守るため、成城グリーンプラザ跡地も含めた国分寺産線の保全など、自然環境保全型の施策を強力に展開せよ。

世田谷型地域保健福祉の理念は、共に支え共に生きる地域コミュニティの構築により、子育てや街づくりも含めた、豊かな地域社会の実現を目指すものだ。この理念が区政のすべての分野に行き渡るよう、全力で取り組み。

も一層推進せよ。子どもの権利条例の制定では、子どもの意見を反映させよ。資源循環型社会の実現を目指し、ごみ問題を区民全体で考えることが必要だ。世田谷清掃工場の建て替えでは、清掃事務組合での協議内容などの公開に努め、区民の中での議論を深めよ。

加のあり方も含めた、独自の仕組みを早急に検討し、国や都に提起せよ。国からの臨時交付金により、IT講習会が実施される。成果が十分に上がるよう工夫せよ。また、効果を検証し、継続の必要性も検討せよ。



市民参画を推進し 区民本位の区政運営を

生活者ネットワーク

(賛成意見)

厳しい財政状況にあっても、基礎的自治体としての自立した取り組みが重要だ。行革を着実に進めるとともに、政策評価の結果を区民に十分提供し、市民参画での区政運営を一層進めよ。

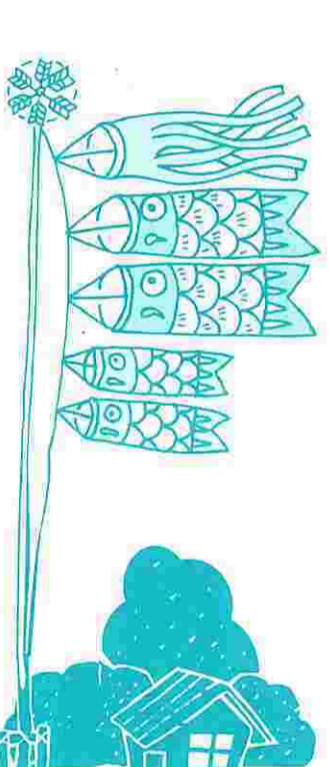
定されない高齢者への生活支援事業やいきが活動も拡充せよ。

男女共同参画社会の実現は区の責務だ。らぶらすを文生財団に移管しても、区は積極的に関与していけ。

就労と子育ての両立への支援が求められている。低年齢待機児の解消や多様な保育需要への対応など、保育サービスの拡充を急げ。また、地域で子育てを支え合う、ファミリーサポート事業などにも積極的に取り組み。

介護保険の定着に向け、情報提供の徹底やサービス基盤の整備に力を注げ。ケアマネージャーやヘルパーの負担軽減への支援も急げ。また、要介護と認

総合的な学習の時間が、14年度から本格実施される。子どもの生きる力が育まれるよう、体験学習など特色ある教育に取り組め。区独自の少人数教育



加のあり方も含めた、独自の仕組みを早急に検討し、国や都に提起せよ。国からの臨時交付金により、IT講習会が実施される。成果が十分に上がるよう工夫せよ。また、効果を検証し、継続の必要性も検討せよ。

NPOなどの市民団体を活用した公共サービスの拡充が求められている。行政の対等なパートナーとして位置付け、育成と支援に力を注げ。



既成政党は過去の遺物。ノーだ 反政党・改革派

(反対意見)

改革とは既得権を切り、現状を変えること。が議会はデキレース、緊迫感のカケラもない。所属業界の利権拡大、強談などKSD質問は慢め。区長は清掃管理で労組と支持協力、区長選挙をやった社民党幹部を非常勤職員に雇っ

た。強い疑念を持つ。学校給食民間委託反対のピラに時給800円のパートの調理は心配とあるが、時給600円の区職員なら安全か。官尊民卑、低賃金労働者蔑視。区民の会も共産系組合のダミー。



行政責任を自覚した区政運営を 世田谷行革110番

(反対意見)

今の区政にはやる気が全く感じられない。議会での議論を真剣に受け止めず、中身の無い答弁を繰り返して、説明責任を果たしていない。その上、行政サービスの担い手としての責任を曖昧にしており、問題だ。また、危機的財

政状況の中、大胆な区政改革が求められているにもかかわらず、指導力を発揮すべき立場にある者が方向性を示さず、問題先送りの区政となっている。このような13年度予算には反対する。



区長は空白の10年の責任を取れ 無党派市民

(反対意見)

小田急線立化の下北沢地区の地下化方針が都から公表された。永年の市民運動の勝利だ。しかし、区は地下は高架事業費の15倍以上のデラマな報告をまとめ、10年前に下北沢の地下化方針を伏せ、梅丘以西の高架化を強

行推進した。今回区長は下北沢はもともと高架にできなかったと答弁。モラルハザードもはなはだしい。今こそ、梅丘以西も地下化に見直せ。区長は空白の10年と遅延の責任を取り辞職せよ。



地区からの行政改革の推進を 新風21

(賛成意見)

区民に最も大切なのは、身近な地区での施策の展開だ。地区からの発信を尊重し、地区から区政全体を変えていく行政改革に力を注げ。また、地区の中で子どもを育てることが重要であり、学校は地区コミュニティの形成に不可

欠だ。小学校の学区は撤廃するな。子ども条例は、内容を十分検討し、実効性のあるものを制定せよ。更に、区民の移動の自由を保障する世田谷コミュニティバスを、区内全域で運行せよ。



真に自立した自治体を目指せ 世田谷区議会自由党

(賛成意見)

現在の日本は、深刻な財政難や治安の悪化、モラルの荒廃などの問題に直面し、国家として危機的状況に陥っている。このような問題の根源は、自己責任に基づく個の自立を阻害してきた社会の仕組みにある。これは、区が置

かれている現行の自治制度においても同様だ。自らの将来を自ら責任を持って切り開く気概を持ち、地方自治制度や都区制度の改革などを積極的に議論し、提言していけ。

第2回定例会は、6月に開催する予定です。

区長の区議会招集あいさつ(要旨)

新世紀を迎え、区政の真価が問われています。区民生活の向上と地域社会の活性化を目指し、6つのゼロの実現と行政改善の一層の推進を基本に、区政運営に取り組んでいきます。

より開かれた区政を目指して、情報公開条例を改正します。説明責任の明記などにより、透明性を更に高めます。オウム信者の転入に対し、迅速に対応策を講じました。区民の生命と安全を守る立場から、鋭意取り組みます。

清掃・リサイクル事業では、高齢者などの安否確認を兼ねたごみの訪問収集や、商店街のごみ減量活動への支援など、独自の事業展開を図ります。

ISO14001認証の年内取得に取り組みるとともに、庁有ディーゼル車の削減と低公害車の導入を進めます。地域の市民活動の自立支援のため、活動のネットワーク化などの仕組みづくりを進め、一層の活性化を図ります。

厳しい経営環境が続く中、中小企業への積極的な融資の継続を初め、産業振興ビジョンなどに基づいて、区内産業の活性化に強力に取り組みます。

介護保険制度は実施から一年が経過しました。今後もサービス基盤の整備を進め、制度の一層の充実に努めます。区民の健康づくりや疾病予防を推進するため、健康せたがやプランの策定や健康危機管理体制の整備を進めます。街づくりでは、都が下北沢付近の小田急線連立事業の構造形式を表明しました。事業の進捗に合わせ、駅周辺の整備を進めます。二子玉川再開発や道路整備を促進し、安全で住みよい都市を目指します。三宿法務省跡地を取得し、防災街づくりの推進とみどりの保全にも努めます。自転車利用の総合計画を策定し、放置自転車の解消を図ります。また、南北バス路線は、新年度の早い時期に運行開始の見込みです。個に応じた教育を充実するため、小中学校に区独自で非常勤講師を派遣します。中学校の部活動の活性化や、IT講習会の実施にも取り組みます。

議決内容のつづき

○道路占用条例(全員賛成)
占用料を改定した。

○私道整備・私道排水設備助成条例
賛成多数(賛成:議員、公民無、生活、社、改革派、行革、新風、自由、反対:共)

助成の対象や金額などを変更した。

○総合運動場条例(全員賛成)
二子玉川緑地運動場の陸上競技場兼サッカー場を廃止し、少年サッカー場を設置する。

○清掃・リサイクル条例
賛成多数(賛成:議員、公民無、生活、社、改革派、行革、新風、自由、反対:共、無党派)

家電リサイクル法の制定に伴い、規定を整備したことなど。

○消費者訴訟資金貸付条例
賛成多数(賛成:議員、公民無、生活、社、改革派、行革、新風、自由、反対:無党派)

都の貸付制度を活用し、区の貸付制度は廃止する。

○特別区人事・厚生事務組合規約変更の協議
1件(全員賛成)
路上生活者自立支援事業を組合で共同処理することなど。

○区道路線の認定・廃止
2件(全員賛成)

○工事請負契約の締結
1件(全員賛成)
谷沢川防災工事(中町4丁目)契約金額二億二八九〇万円

○選挙管理委員及び同補充員の選挙
2件
選挙管理委員
中村 大吉 丸山 孝男
和野 勉 浜中 光四郎

○選挙管理委員の補充員
長谷川 佳壽子
平塚 信子 中田 史郎

○議員提出議案
2件(全員賛成)
○委員会条例を左横書きに改める条例
○会議規則を左横書きに改める規則
以上2件は、条例と規則を左横書きに改め、用字などを整える。

○文教委で審査するもの
5件
○区立中学校使用社会科教科書(歴史的分野)採択に関する陳情

○世田谷区立池尻中学校と世田谷区立新星中学校の統合に関する陳情

○世田谷区立池尻中学校と世田谷区立新星中学校の統合に関する陳情

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

審議が終わったもの

◆取り下げを承認したもの
2件(全員賛成)

○病院坂の歩道整備に関する陳情

○教科書採択に関する陳情

◆不採択とみなされたもの
1件

○区民生活に密着した電気、通信およびガス料金に影響を及ぼす道路占用料について、据え置きを求める陳情

一条の改正が可決したため。(都市整備委員会付託)

新しく出されたもの

◆企画総務委員会で審査するもの
1件

○自衛隊三宿駐屯地敷地の核・生物・化学兵器研究施設設置に反対する請願

◆区民生活委員会で審査するもの
1件

○「食品安全行政の充実・強化を求める意見書」に関する請願

◆福祉保健委員会で審査するもの
2件

○じん肺根絶を求める意見書に関する陳情

○世田谷区における民間の保育園に助成金規定の緩和を求める陳情

◆都市整備委員会で審査するもの
7件

○世田谷西部地域喜多見・成城地区地区計画の変更案に反対する請願

○区民生活に密着した電気、通信およびガス料金に影響を及ぼす道路占用料について、据え置きを求める陳情

○千歳台1丁目三井不動産建設マンションに関する請願

○世田谷区街づくり行政の業務監査体制の確立と苦情処理機関の設置に関する陳情

○国立小児病院跡地の利用等に関する請願

○大規模小売店舗出店から住環境を守る条例制定に関する陳情

○(仮称)下馬二丁目パークハウス建設変更内容に関する請願

◆文教委員会で審査するもの
5件

○区立中学校使用社会科教科書(歴史的分野)採択に関する陳情

○世田谷区立池尻中学校と世田谷区立新星中学校の統合に関する陳情

○世田谷区立池尻中学校と世田谷区立新星中学校の統合に関する陳情

要望書(要旨)

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

特定非営利活動法人の税制支援措置に関する要望書

特定非営利活動促進法(NPO法)が施行されてから2年が経過し、すでに全国で数多くの団体が、NPO法人としてさまざまな分野で活動している。世田谷区においてもまちづくりや福祉などの分野で、区民相互の自助的・公益的活動を担い、さらに発展しようとしている。

しかし、現実にNPO法人が担っている活動、あるいは区民や行政などからの期待の大きさに比べ、財政基盤は厳しく、多くのNPO法人が活動運営資金の恒常的な不足に直面している。また、現在、NPO法人の活動に対しては、法人住民税をはじめとする、さまざまな地方税が課税され、なお一層NPO法人の財政基盤を圧迫している。NPO法制定時に国会では、財政基盤整備の重要な課題として税制優遇が論議され、昨年末には寄附金への税制上の優遇などの措置が示された。しかし、その内容は十分とはいえない。よって、世田谷区議会は、NPO法人の公益性を踏まえ、その実態に即した的確な税制優遇措置を講じるよう、強く要望する。

平成13年1月19日
内閣総理大臣・東京都知事 あて

小田急線立体化に伴う高架下等への自転車等駐車場設置に関する要望書

小田急線立体化に伴う高架下等への自転車等駐車場設置に関する要望書

小田急線立体化に伴う高架下等への自転車等駐車場の設置は、多くは、多くの区民が期待しているところである。区はこの事業に合わせ、区民とともに各駅周辺のまちづくりを進めている。これらの事業を進めていく上で、駅前の放置自転車を収容できる自転車等駐車場の設置は、不可欠である。

さらに、区は自転車の適正利用の促進、放置自転車のない安全なまちを目指し、世田谷区自転車等の利用に関する総合計画を策定している。

よって、世田谷区議会は、区の高架下利用の基本方針に基づき、東京都及び小田急電鉄が進めている事業によって生み出される高架下及び掘削上部の駅改札口からできるだけ近い位置に、需要に応じた適切な量の自転車等駐車場を貴社によって設置されるよう強く要望するものである。

平成13年3月9日
小田急電鉄 へて

正副委員長の互選結果の報告

○予算特別委員会
委員長 新田 勝己(自民)
副委員長 飯塚 和道(公明)
副委員長 羽田 圭一(社民)

○予算特別委員会
委員長 新田 勝己(自民)
副委員長 飯塚 和道(公明)
副委員長 羽田 圭一(社民)

永年在職表彰

荒木義一議員(自民)が、在職30年の功績により特別区議長会から表彰されました。伝達式は3月29日に本会議場で行われ、区長からも感謝状が贈られました。

編集後記

○今定例会では、36名の議員が、今世紀の区の方や保健福祉施策、オウム問題などの区政の諸課題について質問を行うとともに、平成13年度予算を審査しました。また、今回より紙面を2色刷りに変更いたしました。これからは、区議会の活動が、区民の皆様にとってより親しみやすいものとなるよう、区議会だよりの編集に工夫を凝らしていきます。

○本紙に関するお問い合わせは、区議会事務局調査係までお寄せ下さい。
TEL (五四三) 一一一一
TEL (五四三) 一一一一
FAX (五四三) 三〇三〇

本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、会議録(本会議の分は5月下旬、予算特別委員会の分は6月下旬の発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

